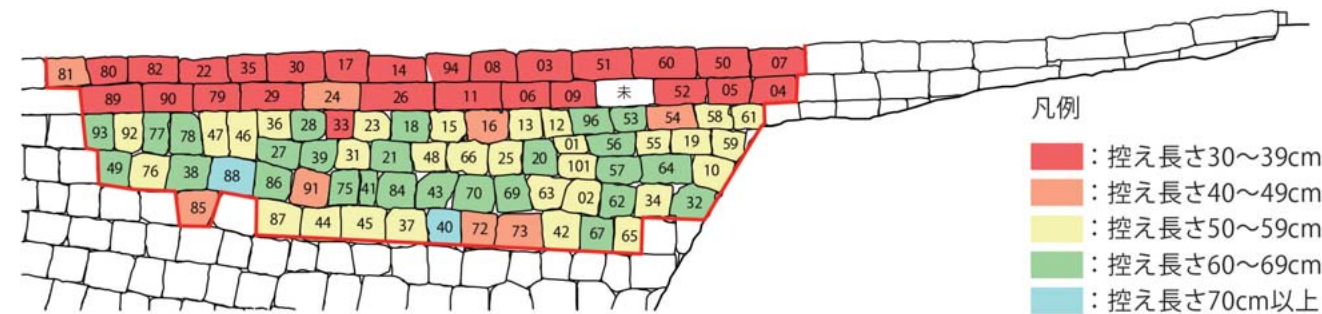


重要文化財「通潤橋」崩落した壁石垣の復旧の見通しについて

通潤橋の修復については、石垣の積み直し方法や今後のスケジュールなどに関し、専門家等による委員会のほか、技術者や地元の石工技能者を含めた技術検討ワーキングにおいて検討を進めています。現状と今後の復旧スケジュールについて、お知らせします。（山都町ホームページにも掲載しています。）

1 崩落した石材の元の位置の特定について

崩落した石垣は、94石分に相当します。通潤橋の建造時は、現場で石材の加工や微調整を行いながら、精巧な石積みが作られましたが、文化財の修復となると、元の石材を加工することなく、石の上下、左右が噛み合うよう復元することが求められるため、一からつくり直すよりもはるかに難しい作業が想定されます。こうした復元に向けた基礎資料として、落下した石材の3次元計測を行い、崩落前の石垣のデータ・資料等と照合し、表面の模様、石材の形状、規格（大きさ）、石垣裏面の形状などの項目について比較検討を行い、94石中93石の位置を特定しました。現在、残り1石の特定や損傷のあった石材の取り扱いについて、検討を進めています。



2 復旧スケジュール

石垣の積み直し工事は、2019年2月に国（文化庁）の交付決定を受け、発注に取り掛かる予定で、概ね春頃から工事を開始します。工期は、約1年間を想定しています。文化財の修復工事であるため、まず、石積みの裏側（裏築）の構造の確認調査を行い、その仕様に基き崩落部分の石垣の積み直しを行う計画です。通潤橋の価値を将来につなぎ、かつ一刻も早い復旧を目指して取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

【復旧工程スケジュール】

項目	年・月	2019 年												2020 年		
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
仮設工事（索道・足場）			■								■			■		
裏築（うらつき）調査				■												
石垣積み直し							■									
被覆土掘削・埋め戻し							■						■			
目地漆喰詰め替え											■				■	
排水処理											■					

銀座熊本館レポート

皆さん、「銀座熊本館」をご存知でしょうか。

東京銀座の一等地にある熊本県のアンテナショップ※です。

1階は「くまもとプラザ」として、熊本県内の特産品等が販売されています。2階は「くまもとサロン ASOBI・Bar」、観光コーナーが設けられています。ASOBI・Barでは、日により異なりますが、13時からカフェタイム、17時からバータイム営業がなされていて、県産の食事やお酒などを楽しむことができます。



さて、1階のプラザをのぞいてみると、ありました！山都町産の物産の数々！



山都おかし 清和物産館から切り干し大根・芋がら 焼き米 虹の通潤館からまぜご飯、やさしいカレー、秘伝豆酪など

訪れた日は平日の午後でしたが、お客様がひっきりなし。これでも少ないほう、と銀座熊本館の村崎さん（写真右）。写真で手に取られている干しタケノコなども、使い方などを示して販売してあるとよく売れるのだそう。当日も、一人で何本も購入されている女性がいらっしゃいました。

ここには、野菜や豆腐などの日配品も多く、銀座のど真ん中でそれらがどんどん売れるそうです。ただ、サイズは小さめ。単身世帯が多く、また公共交通機関での移動となるため、大きなものは売れないそうです。

ここで売れるためには、丁寧な商品説明と一発でわかるネーミング、小サイズであること、が必須とのことでした。

皆さんも、銀座に行かれたら、ぜひのぞいてみてくださいね。



商品の説明をされる銀座熊本館の村崎さん

住所：東京都中央区銀座 5-3-16

電話：03-3572-1147

【定休日】月曜日※詳細はHP等でご確認ください。

※アンテナショップ・・・自治体が、観光PRや知名度向上を目的に大都市に開設し、特産品の販売や観光情報の発信などをする施設。